

第191回 イスラーム世界の混乱

1 第3次・第4次中東戦争

・中東では、1948年のイスラエル建国以来、2度の中東戦争を経てイスラエルと他のアラブ諸国との対立が激化していた。

→1964年、パレスチナのアラブ人は（ ）を結成し、（ ）議長を中心にイスラエルに対する過激な闘争を開始した。

・1967年、イスラエルは、エジプト・シリア・ヨルダンに対して先制攻撃を行った。

※この戦争を（ ）（6日間戦争）という。

→イスラエルが圧勝し、（ ）・（ ）・（ ）・（ ）など広大な地域を占領した。

→この大敗により、ナセルのアラブ民族主義は影響力を失った。

→1970年、ナセルは急死し、（ ）がエジプト大統領となった。



PLOのアラファト議長

1969年にPLOの議長となり、ゲリラ活動を行った。1982年にイスラエルによって拠点のレバノンを追われた後は、対話路線に転じた。2004年に死去。



第3次中東戦争(6日間戦争)

イスラエル空軍は、超低空飛行で国境を突破し、アラブ諸国の空軍を壊滅させた。写真は左が進軍するイスラエル、右は捕虜となったエジプト兵。



ナセルの葬式

第3次中東戦争の敗北により、アラブ世界の統一は夢物語となった。経済も悪化し心労が重なったのか、ナセルは1970年、心臓発作で急死した。まだ52歳であった。

・1973年、エジプトとシリアは、突如イスラエルに対して奇襲攻撃をしかけた。

※この戦争を（ ）という。

→イスラエルが反撃して勝利したが、イスラエルも甚大な被害を受けた。

・また（ ）は、石油戦略を実施した。

→（ ）が発生し、世界経済は深刻な不況におちいった。



第4次中東戦争



ゴラン高原を進撃するシリアの戦車(写真左)。またエジプトが持っていたソ連製のRPG-7対戦車ミサイル(写真右)は、イスラエル軍を大いに苦しめた。



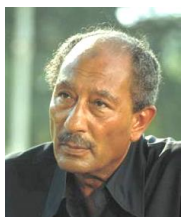
日本の混乱

写真はデマに踊らされてトイレットペーパーを奪い合う日本人。石油を中東に依存していた日本にとって、石油危機は死活問題であった。高度経済成長はこれで終了した。

・1978年、アメリカ大統領カーターの仲介で、エジプトとイスラエルはキャンプ=デーヴィッドで中東和平合意を結んだ。

→1979年、（ ）が結ばれた。

→1982年、条約にもとづきシナイ半島はエジプトに返還された。



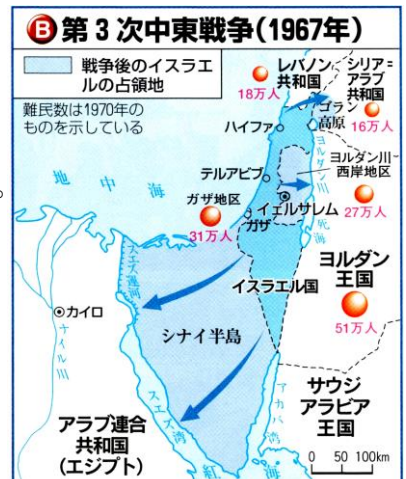
エジプトのサダト大統領

自由将校団の結成メンバーで、ナセルの盟友。イスラエルとの和平は、中東地域のある程度の安定にはつながったが、彼の命を縮めた。



キャンプ=デーヴィッド合意

左からサダト(エジプト)、カーター(米)、ベギン(イスラエル)。キャンプ=デーヴィッドは、アメリカにある別荘である。世界をあっと言わせる合意であった。





イランのホメイニ
シーア派のウラマー
の最高位であり、イラン
革命の指導者であ
った。

2 イラン革命

- ・イランでは、国王（ ）が欧米の投資によって強引な近代化（白色革命）を進めていたが、貧富の差が拡大して不満が高まっていた。
- ・（ ）年、（ ）が発生し国王パフレヴィー2世は亡命した。
→シーア派の最高指導者（ ）を中心にイラン=イスラーム共和国が建国され、イスラーム復興運動が各地で盛んとなった。
→（ ）が起こり、世界経済が混乱した。

3 イラクの状況

- ・イラクは、1958年にバース党のイラク革命が発生し、共和国となっていた。
→1979年、（ ）が大統領に就任し、独裁者となった。
- ・1980年、イラン革命の混乱に乗じてイランに侵入し、戦争となった。
※この戦争を（ ）といい、1988年まで続いた。
- ・1990年、イラクのサダム=フセイン大統領は、突如（ ）に侵攻した。
→1991年、国連の決議によりアメリカ軍を中心とする（ ）が結成され、（ ）が始まった。
→多国籍軍はイラク軍を圧倒して、クウェートから撤退させた。
- ・しかし多くの難民が発生するなど、（ ）の問題が残った。



イラクのフセイン大統領

30年以上イラクで独裁的な地位にあった。イラン=イラク戦争ではアメリカと親密な関係であり、それが湾岸戦争における誤算をまねいた。



イラン=イラク戦争

両国で100万人以上の戦死者を出した。写真はガスマスクをつけるイラン兵。イラクはこの戦争で大量の化学兵器を使用した。



湾岸戦争

戦争が始まった日のことは、小学生の私もよく覚えている。撤退するイラク軍は、クウェートの油田に火をつけていった。これは環境破壊にもつながった。

4 現代のパレスチナ問題

- ・イスラエルと和平したエジプトのサダト大統領は、1981年に暗殺された。
→副大統領の（ ）が大統領となり、2011年まで長期独裁政権を続けた。
- ・イスラエルの占領地では、（ ）と呼ばれる抗議運動が頻発した。
- ・1993年、イスラエルのラビン首相とPLOのアラファト議長は、イスラエルが占領するガザ地区とイエリコで、パレスチナ暫定自治政府を発足させることで同意した。
※これを（ ）という。
→しかし和平に反対するユダヤ人によって（ ）首相が暗殺され頓挫した。



エジプトのムバラク大統領

サダト暗殺時は、副大統領としてサダトのとなりだったが、奇跡的に助かった。2011年の「アラブの春」で独裁者の地位から滑り落ちた。



インティファダ

写真はイスラエルの戦車に石を投げるパレスチナ人の少年。1980年代から90年代にかけて、頻繁に行われたが、イスラエルはこれを弾圧した。



パレスチナ暫定自治協定(オスロ合意)

左からラビン(イスラエル)、クリントン(米)、アラファト(PLO)。ノルウェーの仲介で進められ、ワシントンで調印された。これでパレスチナ問題も解決と思ったが…。